

本庁舎建設に向けての これまでの取組みについて

宇部市



本庁舎の建設年の状況

いつごろ建てられたの？

別館
昭和62年

傍聴室棟
昭和36年

議場棟
昭和33年

高齢者
総合支援課
平成11年

東棟
昭和55年

西棟
昭和52年

本棟 1～3階
昭和33年

本棟 4階
昭和46年



耐震診断の現状

傍聴室棟

Is値0.70～2.07

倒壊,崩壊の危険性 低い

議場棟

Is値0.20～5.98

倒壊,崩壊の危険性 高い

東棟

Is値0.19～0.49

倒壊,崩壊の危険性 高い

西棟

Is値0.65
～3.36

倒壊,崩壊の危険性 低い

本棟 1～3階

Is値0.30～0.48

倒壊,崩壊の危険性 ある

本棟 4階

Is値0.054～0.095

倒壊,崩壊の危険性 高い

Is値0.6未満では、
震度6～7程度で倒壊等の危険性あり！

本庁舎の課題

耐震性

防災拠点機能

スペース

バリアフリー

不十分



宇部市新庁舎建設検討協議会

行政

本庁舎建設にかかる基本的な考え方
(素案) 平成26年4月

建設場所

建設規模

機能

建設手法

資金計画

時期



新市庁舎建設促進特別委員会

議

会

報告書 平成26年6月

新市庁舎建設の必要性

新市庁舎の規模と機能

新市庁舎の建設手法と財源

議 会 施 設



宇部市本庁舎建設検討市民委員会

市 民

関係団体の代表者、
市民委員、学識経験者 51人

建設の必要性、基本理念
市民利用としての機能、位置など

提言書 平成26年12月

市に提言

宇部市の目指すまちづくり

宇部市にぎわいエコまち計画（平成27年3月）

- ◆ 多極ネットワーク型コンパクトシティへの転換
- ◆ エネルギー利用のスマート化
- ◆ 市の顔としての中心市街地の魅力向上



重点整備地区

- 宇部新川駅周辺地区
- 市役所周辺地区
- 中央町三丁目地区

重点整備地区



【市役所周辺地区の整備方針】

- ①まちの中心としての「シンボル性のある機能」
- ②水と緑が感じられる「潤いのある空間」

方針の決定

行政

「基本的な考え方」

市民

「提言書」

議会

「報告書」

平成27年3月

基本構想

基本理念

つながって みんなでつくる 無駄がなく 美しい 市民自治の拠点

方針決定

本庁舎は、早急な建替えが必要

「現在地及びその周辺」での建替えが現実的

コンセプト

基本構想

7つの コンセプト

①明るく、市民が
利用しやすい庁舎

②機能的で事務効率が
高く、無駄のない庁舎

③市民の交流を生み、
市民の活動を支える
庁舎

④市民の安心・安全
を支える庁舎

⑤議会を身近に
感じる庁舎

⑥経済性に優れ、
環境に配慮した庁舎

⑦まちづくりの拠点
としての庁舎

まちづくりにおける新庁舎の役割

基本計画(策定中)

- ◆ “緑と花と彫刻のまち”宇部の美しさを感じまちづくりを先導する場であること
- ◆ 市民交流・協働を支え、宇部市民みんなに愛され、つくりあげられる場であること
- ◆ 無駄がなく、時代の変化に対応しながら快適で安全に使い続けられる場であること

新庁舎に求められる「性能」

基本計画(策定中)

安全性

耐震性・浸水対策の確保
防災拠点

利便性

窓口の集約
わかりやすい来庁舎動線

経済性

建設費の抑制
維持管理費の縮減

性能

快適性

ユニバーサルデザイン
待合・執務環境改善

環境性

環境配慮技術の採用
周辺環境・景観との調和

新庁舎に求められる「機能」

基本計画(策定中)

議会機能

市民とつながる
「市民に開かれた議会」

窓口機能

市民だれもが訪れやすく
利用しやすい窓口

執務機能

職員が快適で効率的に
働ける執務空間

機能

市民活動支援機能

市民活動を支援し
市民自らがつくる交流の場

防災機能

市民の安心・安全を
支え続ける防災拠点

まちづくり拠点機能

「緑と花と彫刻のまち」を
先導する 市民の憩いの場

① 窓口機能

市民だれもが訪れやすく、
利用しやすい窓口

- 総合窓口の導入
- 相談用窓口の充実
- キッズスペースや授乳室
- ユニバーサルデザイン
- 将来の市民ニーズに柔軟
に対応できる空間設計



プライバシーに配慮した相談コーナーの事例
(刈谷市庁舎)



キッズスペース イメージ

機能② 市民活動支援機能

市民活動を支援し、
市民自らがつくる交流の場

- 情報発信コーナー
(図書コーナー・展示ギャラリーなど)
- 多目的ホール



市民への開放
利用方法の検討



展示コーナー イメージ



情報発信コーナー イメージ

機能③ まちづくり拠点機能

「緑と花と彫刻のまち」を
先導する市民集いの場

- 庁舎前広場
(憩いの広場、まちなかイベント広場)
- バス利用促進のための機能
- 飲食・休憩スペース
(気軽に立ち寄れる場所)



飲食コーナー イメージ



お祭り広場 イメージ

機能④ 防災機能

市民の安心・安全を支え続ける防災拠点

- 防災危機管理拠点機能を十分発揮できる平面計画
- 司令塔としての機能を維持するための非常用発電設備
- 災害時の断水に備えた、耐震性貯留施設(上水・雨水)
- 電算室、発電機室等の上層階への設置
- 備蓄倉庫、仮眠室等の設置



災害対策本部 イメージ



会議室を災害対策本部に転用の事例

機能⑤ 執務機能

職員が快適で
効率的に働ける執務空間

- 組織変更に柔軟に対応できるオープフロア等の検討
- ICT化の推進
- 情報セキュリティ強化
- 書庫、倉庫の適正配置



オープフロアの執務室 イメージ

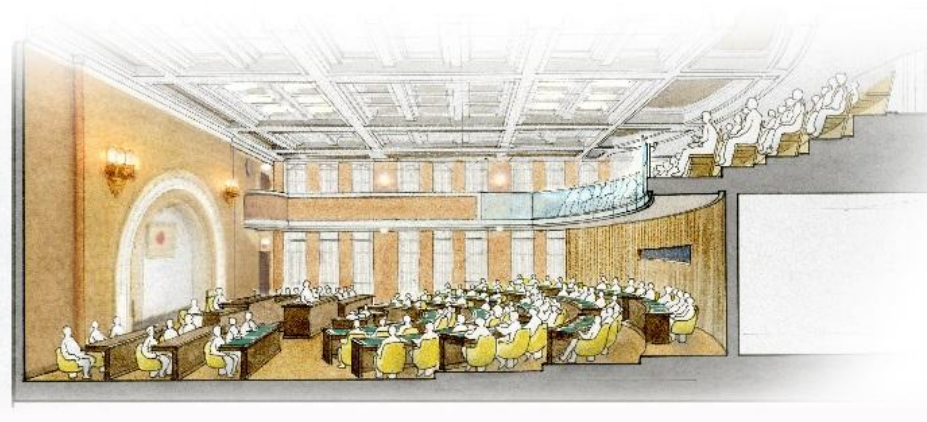


オープフロアの執務室 イメージ

機能⑥ 議会機能

市民とつながる 「市民に開かれた議会」

- 利用しやすい傍聴席
(車いす用スペースの確保・
難聴者補聴システム等)
- 待合ロビーでの議会中継
- 議会図書室などの
市民利用拡大



傍聴しやすい議場 イメージ

新庁舎の規模

市役所機能のみ

① 実態調査に基づく規模算定

現庁舎における職員数や利用状況を踏まえ、適正な規模を算定。

23,779m²

② 規模圧縮のための検討

将来的な職員数の削減を踏まえ、窓口等の業務改善や事務の効率化を進めることを前提に規模を圧縮。

18,386m²

③ 竣工時点の配置人数の見直し

港町庁舎を新庁舎建設後も当面継続利用することとし、現本庁舎の配置人数のみを対象とし、規模を圧縮。

17,480m²

新庁舎の全体規模 : 約17,500m²

新庁舎の敷地と配置計画



市庁舎と
宇部税務署との
合築について、
国と合意



今後、配置計画
など、段階的に
国と協議を進め
検討する

概算事業費及び財源

本庁舎建設基金

平成9年設置

平成27年度末見込み

約36億6千万円

○庁舎建替え費用の概算

新築工事 面積 $17,500\text{m}^2$ × 想定単価45万円 = 約79億円

解体・外構・その他経費、消費税等 約24億円

約103億円

○財源

現在の建設基金 約37億円に
出来るだけ積み増しする

残額は、市債等充当

今後のスケジュール

平成28年

5月

6月

7月

8月

9月

基本計画策定作業

素案作成

パブリック
コメント

計画策定

市民説明会

- ・中央部
- ・西岐波
- ・厚南
- ・船木 4地区

基本設計

新市庁舎建設に関する 宇部市議会の取り組み

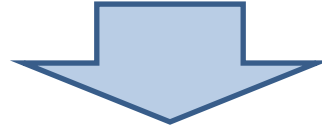
宇部市議会 新市庁舎建設特別委員会

委員長 笠 井 泰 孝

新市庁舎建設促進特別委員会の設置経緯

「宇部市役所新庁舎建設促進に関する決議」
(平成24年12月18日議決)

市議会として、新庁舎の建設に向け、執行部とともに
推進していく姿勢を明確に示す



新市庁舎建設促進特別委員会の設置

【任務】

新市庁舎建設に関する諸般の審査や調査を行い、その早期
建設の実現に寄与する

【委員構成】 7人

新市庁舎建設促進特別委員会の検討経緯

平成24年12月18日 委員会設置

平成26年5月まで
15回にわたり委員会開催

検討項目

新市庁舎建設の必要性

新市庁舎の規模と機能

建設手法と財源

議会施設

新市庁舎建設促進特別委員会の活動経過①

委員会開催日		検討事項
第1回	平成24年12月18日	正副委員長の互選
第2回	平成25年1月22日	新市庁舎建設に係る現状と今後の予定について
第3回	平成25年2月19日	(1) 平成16年度にPFIによる庁舎建てかえを断念した経緯と改正PFI法の概要について (2) 新市庁舎建設に対する各会派の意見、要望について
第4回	平成25年4月24日	委員会の今後の進め方と作業スケジュールについて
第5回	平成25年5月9日	委員会の今後の進め方と作業スケジュールについて
視 察	平成25年6月28日	(1) 岩国市：新庁舎の建設について (2) 下関市：市民サービスセンター（仮称）の建設について

新市庁舎建設促進特別委員会の活動経過②

委員会開催日		検討事項
第6回	平成25年8月16日	「新市庁舎建設の必要性」について
第7回	平成25年12月20日	(1) 本庁舎建設に係る取り組み状況について(執行部報告) (2) 委員会の協議検討事項の再確認及び今後のスケジュールについて
第8回	平成26年1月16日	(1) 「新市庁舎建設の必要性」について (2) 「新市庁舎の規模と機能(位置を含む。)」について
第9回	平成26年1月27日	(1) 新市庁舎の「建設時期」及び「位置」について (2) 新市庁舎の「規模」、「機能」及び「建設手法」について
第10回	平成26年2月3日	(1) 中間報告書について (2) 新市庁舎の「機能」及び「規模」について
第11回	平成26年2月18日	(1) 中間報告書提出の経過報告について (2) 新市庁舎建設に係る取り組みの進捗状況について(執行部報告) (3) 委員会の今後のスケジュールについて

新市庁舎建設促進特別委員会の活動経過③

委員会開催日		検討事項
第12回	平成26年4月7日	(1)「新市庁舎の建設手法と財源」について (2)「議会施設」について
視 察	平成26年4月18日	下関市：本庁舎新館議会関係フロアについて
第13回	平成26年4月30日	(1)「新市庁舎の建設手法と財源」について (2)「議会施設」について (3) 委員会報告書の取りまとめについて
第14回	平成26年5月14日	(1) 宇部市本庁舎建設検討市民委員会について(執行部報告) (2) 委員会報告書の取りまとめについて
第15回	平成26年5月20日	委員会報告書の取りまとめについて

新市庁舎建設促進特別委員会報告書

4項目の検討結果を取りまとめ

新市庁舎建設の必要性

新市庁舎の規模と機能

建設手法と財源

議会施設

新市庁舎の建設を着実に推進するよう強く要請

新市庁舎建設に向けた新たな特別委員会設置を提言



平成26年6月19日 6月定例会最終本会議で
委員長が報告



異議なく承認

検討項目(1)

新市庁舎建設の必要性【現状と課題】

老朽化が進行し、耐震性も低い

分庁舎が多く、窓口業務が分散

中心市街地
都市機能の増進と経済活力の向上
総合的・一体的に推進

第四次宇部市総合計画の求める都市像
「みんなで築く、活力と交流による
元気都市」を実現

市役所庁舎を核とするにぎわいあふれるまちづくり

新市庁舎の建設は重要な課題

利便性の向上

行政運営の簡素・効率化

高度情報化

省エネルギー化

防災・減災に対応する機能

検討項目(1)

新市庁舎建設の必要性【建設時期】

にぎわいと活力を創出

真に「元気都市うべ」と呼べる
まちづくりを実現

市制100周年は新市庁舎で迎え
全市一丸となって次の100周年に向けた
力強い一歩を踏む出すためにも

新市庁舎の建設は、時期を逸することの
ないよう進捗を図る

検討項目(2)

新市庁舎建設の規模と機能 【位置】

中心市街地の活性化

市民の利便性

都市機能の増進

経済活力向上

総合的に勘案

新市庁舎の位置は現在地及びその付近

検討項目(2)

新市庁舎建設の規模と機能【規模】

分庁舎を可能な限り統合

予測されるデータ
(人口推計・財政状況)

的確に分析
精査

本市の庁舎としての機能を満たす適切な規模

検討項目(2)

新市庁舎建設の規模と機能【機能】

ワンストップサービス
を実現する
総合窓口の設置

中心市街地の
にぎわい創出に寄与
市民が親しみやすく
利用しやすい機能

敷地内に十分な収容
能力を持つ駐車場

配慮
すべき点

さまざまなニーズの
変化に対応可能な
フロアデザイン

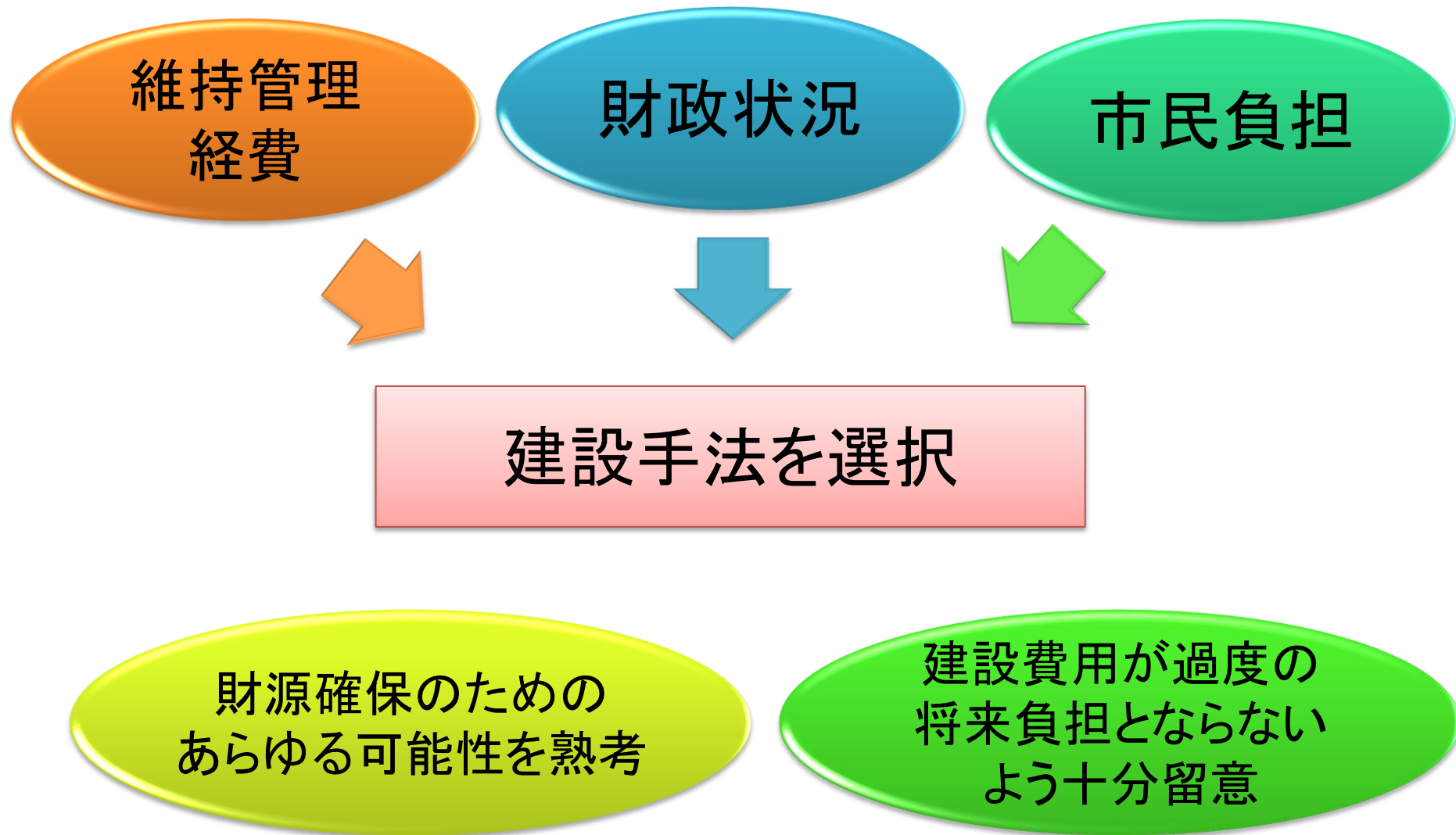
ユニバーサルデザイン
の徹底

防災・減災に対応する
核施設としての
機能を充実

環境先進都市に
ふさわしい機能を充実

検討項目(3)

新市庁舎の建設手法と財源について



検討項目(4)

議会施設について

(1)議 場

- ・市民が傍聴しやすい傍聴席を設計
- ・本会議の中継(映像配信)に対応可能な構造

(2)委員会室等

- ・各常任委員会の審査・調査に対応可能な室数
- ・傍聴席のスペースを十分確保 など

(3)会派等控室

- ・会派数・所属議員数の変動に対応可能な構造 など

(4)議会図書室

- ・蔵書数の増加やIT機器の導入に対応可能な構造 など

(5)議会事務局

- ・来訪者が議会事務局で把握できる構造 など

新市庁舎建設特別委員会(1)

設 置

平成26年9月26日

任 務

新市庁舎建設に関する諸般の審査や調査を行い、
その早期建設の実現に寄与する

委員構成

7人

消 滅

平成27年4月30日(議員の任期満了)

新市庁舎建設特別委員会(1)の活動経過

委員会開催日		検討事項
第1回	平成26年9月26日	正副委員長の互選
第2回	平成26年12月24日	宇部市本庁舎建設検討市民委員会の検討結果と新市庁舎建設に係る今後の取り組みについて
第3回	平成27年1月22日	宇部市本庁舎建設基本構想(案)の概要について
第4回	平成27年3月26日	宇部市本庁舎建設基本構想について

新市庁舎建設特別委員会(2)

設 置

平成27年5月25日(至現在)

任 務

新市庁舎建設に関する諸般の審査や調査を行い、
その早期建設の実現に寄与する

委員構成

7人

新市庁舎建設特別委員会(2)の活動経過

委員会開催日		検討事項
第1回	平成27年5月25日	正副委員長の互選
第2回	平成27年8月17日	新市庁舎建設に向けたこれまでの取り組みと今後の予定について
第3回	平成27年10月26日	(1) 宇部市本庁舎建設基本計画検討委員会の審議状況について (2) 宇部市本庁舎建設基本計画に係る議会関連機能検討結果報告書案について
第4回	平成28年2月17日	宇部市本庁舎建設基本計画の策定に係る経過報告について
第5回	平成28年5月18日	「まちづくりに求められる市役所新庁舎を考える」市民シンポジウムに係る基調説明及び意見交換会の概要について

つながって、みんなで作る

無駄がなく 美しい

市民自治の拠点

宇部市本庁舎建設検討市民委員会
提言書(20141204)

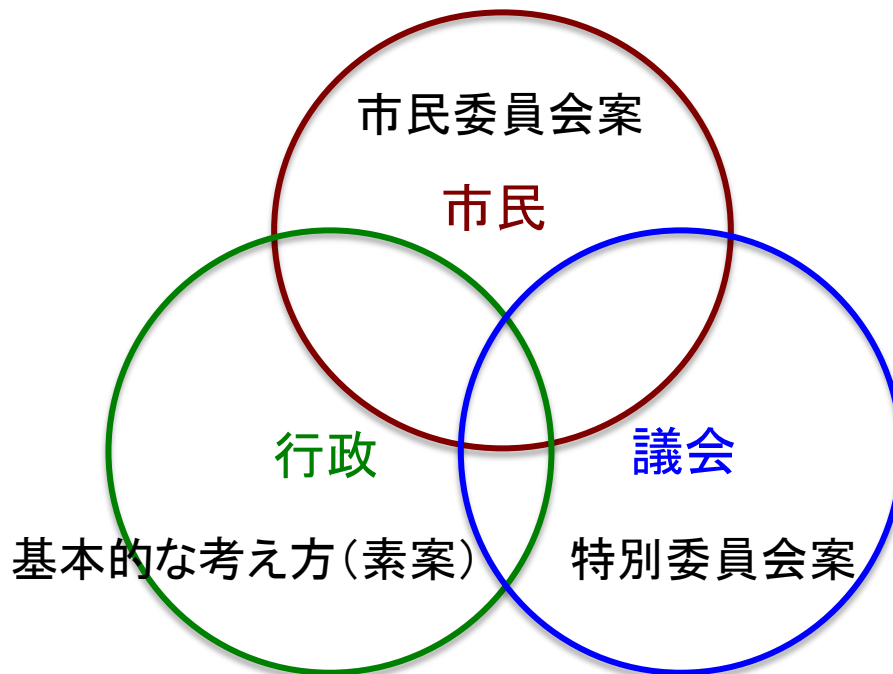
山口大学 内田文雄

市民委員会の役割

宇部市民にとって、

市民・行政・議会が、対等な関係で進める

市民自治の拠点としての市庁舎のあり方について議論し、
基本的な考え方をつくりあげること



21世紀の分権型社会においては
市民、行政、議会が対等な立場に
立って、住み良いまちを育てて行く
ことが必要

市役所を構成する基本機能

行政推進機能

- 効率的な行政が推進できる市庁舎
- 職員が働きやすい執務環境の庁舎
- 福利厚生面への配慮
- 防災拠点としての機能

市民利用機能

- 充実した市民サービスを受けられる機能
- 市民参画を実現するための機能
- 情報の共有化のためのスペース
- 市民の交流を生み出し、活動を支える機能
- その他の利便施設

議会関連機能

- 市民に開かれた議会
- 議会の立法機能強化のためのスペース
- 議会スペースの有効活用

市民委員会の具体的検討課題

STEP1.市庁舎建替えの必要性の検討

STEP2.市庁舎の目指すべき理念を考える

STEP3.市民自治の拠点としての市庁舎の姿を描く

- 新庁舎建設への配慮事項について
- 新庁舎に導入する市民利用機能について
- 新庁舎建設のプロセスのあり方について

宇部市本庁舎建設検討市民委員会の検討経過 51名の市民委員によるワークショップで検討を重ねた。

第1回 平成26年4月26日 宇部市役所

- (1) 委員長・副委員長の選出
- (2) 本庁舎建設に係る基本的な考え方について
- (3) 今後の進め方について
- (4) その他

第2回 平成26年6月21日 宇部市文化会館

- (1) 第1回委員会について
 - ・「意見及び質問票」について
 - ・庁舎建替えの必要性について
 - ・第1回委員会のまとめについて
- (2) グループ討議
 - ・新庁舎建設に対する理念について
 - ・新庁舎の建設場所について
- (3) その他

第3回 平成26年8月21日 宇部市役所

- (1) 第2回委員会のまとめ
- (2) 新庁舎の機能について
- (3) その他

第4回 平成26年9月20日 宇部市総合福祉会館

- (1) 第3回委員会のまとめ
- (2) 市民案の構成（案）等について
- (3) その他

第5回 平成26年10月18日 宇部市役所

- (1) 第4回委員会のまとめ
- (2) 市民案について
- (3) その他

第6回 平成26年11月15日 宇部市役所

- (1) 提言書について
- (2) その他

提言書の構成

1. 市庁舎建替えの必要性について
2. こんな市庁舎をつくりたい！ 市庁舎づくりの基本目標
3. こんな市庁舎をつくりたい！ 市庁舎づくりの基本イメージ
4. 新庁舎建設の基本方針
5. 新庁舎に導入する市民利用機能
6. 建設場所について
7. みんなでつくる市庁舎

1.市庁舎建替えの必要性について

1) 現庁舎の抱える課題

- ・老朽化
- ・耐震性の不足
- ・市民利用への配慮不足
- ・協働のまちづくり推進のための機能不足
- ・防災拠点としての機能不足

(2) 建替えの必要性

市民委員会において、現庁舎の建替えについての意見を取りまとめた結果（回答数 47名）

(ア) 必要である	-----	44名
(イ) 必要ない	-----	0名
(ウ) その他	-----	2名
(エ) 無記入	-----	1名

ほとんどの委員が、現庁舎の建替えは必要であると考えている。

2.こんな市庁舎をつくりたい！ 市庁舎づくりの基本目標
市民委員会で出された意見を集約して基本目標をつくりました

つながって、みんなで作る
無駄がなく 美しい
市民自治の拠点

つながって----- 縦割りから横串へ
市民同士がつながる
行政と市民がつながる

みんなで作る--- 協働して作る
宇部のシンボルとなる姿をみんなで作る

無駄がなく----- コンパクトにローコストで創る 働きやすい
省エネ 創エネ
維持監理にお金が掛からない

美しい----- 明るい わかりやすく使いやすい
親しみやすい 公園のような
緑と花と彫刻のまちづくりを先導する

市民自治の拠点--- 市民の生活に便利 生活を支える
災害時に頼りになる 安全で安心

3.こんな市庁舎をつくりたい！ 市庁舎づくりの5つの基本イメージ

(1) 明るく、利用しやすい、公園のような市庁舎

- ・明るく、親しみやすいこと
- ・分かりやすく、利用しやすく、充実した市民サービスが受けられること
- ・緑と花と彫刻のまちのイメージを先導する公園のような場所であること

(2) 効率的な行政を推進しやすく、無駄のない市庁舎

- ・機能的な空間構成で、市職員が働きやすい環境であること
- ・情報化に対応できる柔軟なレイアウト機能を有すること
- ・維持管理費の低減につながる工夫を重ね、地球環境にやさしいこと

(3) 市民の交流を生み、市民の活動を支える市庁舎

- ・市民活動のためのスペースが無駄なく配置されていること
- ・市民の様々な活動を支え、市民相互の交流を生み、まちづくりの拠点となること
- ・宇部市の観光情報やイベント、市民の活動などの情報発信の拠点となること

(4) 議会の活動が市民に分かりやすい市庁舎

- ・市民と議会を近づける開かれた空間づくりに配慮されていること
- ・議会の立法機能の強化につながる機能が用意されていること
- ・議会スペースの有効活用を工夫すること

(5) 安全・安心の拠り所となる市庁舎

- ・防災拠点としての機能を充実させること
- ・危機管理システムの整備とそれを支える空間機能がマッチしていること

4.新庁舎建設の基本方針

(1) すべての人にやさしいユニバーサルデザインへ配慮する

- ・ 少子・高齢社会に対応したすべての人にやさしい庁舎

(2) 合理的でシンプルで無駄のないローコストなつくり方に配慮する

- ・ 出来るだけシンプルな構造とし建設コストを押さえた庁舎

(3) 自然エネルギーの活用などを工夫し、地球環境に配慮する

- ・ 省エネ、創エネに配慮し、環境にやさしく経済的な庁舎

(4) 耐震性や長期にわたる維持管理に配慮する

- ・ 耐震性を重視し、維持管理のしやすい長寿命の庁舎

(5) 情報化への対応やスペースの可変性に配慮する

- ・ 急速に進展する情報化に柔軟に対応し、将来の空間の可変性に対応するフレキシブルな庁舎

(6) 人の動線を意識した駐車場のつくり方を工夫する

- ・ バスやタクシーなどの公共交通や、自家用車、自転車、車いすなどの様々な移動手段に対応する駐車場のつくり方を工夫する

5.新庁舎に導入する市民利用機能

(1) 宇部市の情報を発信し、宇部市をアピールする総合情報機能

- 地域情報の発信の拠点となる空間
- 宇部市をアピールする空間

(2) 市民交流を支え、市民協働のための拠点となる場所

- 多様な催しに対応するフレキシブルな空間
- 市民の交流やふれあいのための空間
- 目的を持った市民活動のための空間

(3) 市民の憩いの場となる空間

- 市民の憩いの場となる公園のような空間
- 真締川公園や常盤通りとつながる市民の憩いの場所

(4) 市民生活を支える施設（国の施設など）との合築

- 隣接する税務署との合築の検討

(5) 商業機能（売店など）の併設

- 市民にとって最低限必要な商業機能の併設

6.建設場所について

以下の3つの意見に集約することが出来た。

(A) 宇部新川駅と一体化して整備する案

(B) 中心部の学校適正配置計画の中で統合予定の小学校の敷地に建てる案

(C) 現庁舎が建っている敷地周辺に整備する案



「現庁舎の敷地周辺で建替えることを原則として考える」

7. みんなでつくる市庁舎

・建設プロセスへの市民の主体的な関わり方

本提言書と、市の素案、議会報告書、をとりまとめ基本構想とする段階から基本計画、基本設計・実施設計、施工期間、竣工後の運営まで、それぞれの段階で、相應しい形で市民が主体的に関わりながらゆっくり時間をかけて、関係者相互に納得しながら市庁舎づくりを進めて行きたい。
本市民検討委員会の成果を継続的につなげ、市民が責任を持って関われる仕組みをつくりあげて行きたい

